ページ設定

Ａ４　４３字×４０行

マージン　上下左右２０mm

文字UDデジタル教科書体N-R１０．５ｐ　項目 BIZ UDゴシック１０．５ｐ基本とする

　　罫線の枠内は、行間縮小、字間縮小、

文字のポイント小(9ｐまで)可

右詰め２行で書く。

**第○学年　社会科学習指導案**

令和●年●●月●●日（●曜日）　　●校時

第●学年●組（●●名）　指導者　●●

**１　単　元**●●●●●●●●●●

**２　単元の目標**

○徳島市の移り変わりについて、聞き取り調査をしたり、地図などの資料で調べたりして集めた資料から必要な情報を年表にまとめる活動を通して、市や人々の生活が時間の経過に伴い移り変わってきたことを理解することができるようにする。

○交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などに着目して問いを見いだし、市や人々の生活の様子の変化を捉え、比較・関連付けたりしながらこれからの市の発展について考えたりして表現することができるようにする。

○知識及び技能に関する目標

○思考力・判断力・表現力等に関する目標

○主体的に学習に取り組む態度に関する目標

３つにわけて書く。

○市の移り変わりについて予想や学習計画を立てたり見直したりして、主体的に学習問題を追究・解決し、特色や相互の関連、意味について粘り強く考えたり、学習したことを基にこれからの市の発展について考えたりしようとする態度を養う。

**３　単元について**

( )は半角、数字は全角

**(１)　子どもの実態と培いたい資質・能力について**

・生活経験

・学習経験（前単元や前の学年での既習単元で働かせた見方・考え方など）

・すでに身につきつつある資質・能力

・培いたい資質・能力

など本単元に関わる実態を書く。

身近な地域や市の様子の学習では、実際に見て調べたり、土地利用図や航空写真などから読み取ったりして調査活動を進めた。調査する経験を重ねたことで、航空写真や地形図などの様々な資料から読み取る力が向上し、見付けた事実から考え、見えなかった社会の仕組みに気付く楽しさを感じている。また、子どもたちは、時間の経過を自分が生まれる前の昔と生まれてからの今という点で捉えているため時間の経過について関心は高くない。学習する時期を時間軸のうちの点であることを意識するとともに、市の移り変わりと人々の生活を関連付けて考えることができるようにしたい。さらに、地方社会の抱える様々な問題がある中で、市への愛着を深めるとともに、地域の一員として持続可能な社会のためのまちづくりに長く関心を持ち、参画していこうとする意識を高めたい。

**(２)　教材について**

　徳島市は、明治２２年に市制がスタートし、県都として政治・経済の拠点都市の役割を果たしながら、時間の経過とともに昭和以降の歴史の中で市の様子も大きく変化・発展してきた。平成７年の約２６万９千人をピークに人口が減少傾向にあることから、人口の増減と関わらせることやターニングポイントを絞ることで、市の様子や生活の移り変わりがより分かるだろう。生活の道具も人力から家電製品へと変化し、自動化が進み、人々の生活も大きく変化している。

・教材の実態

・どんな教材を取り扱うか

・その教材を取り扱うことでどんなよさがあるか

・どのように取り扱うか

など教材についてポイントとなることを書く。

　徳島市は今後、人口の減少に伴い、少子高齢化や消費経済市場の縮小、中心市街地の衰退など地方社会の抱える様々な問題が加速していくことが予想される。徳島市振興計画に基づき政策を進めている徳島市役所の政策課の方からお話を聞くことで、現在の取組は未来を考えて行われていることを知り、徳島市民の一員として、市の発展を考え、願いがもてるようにする。

**(３)　単元の構造図**

「小・中学校社会科における内容の枠組みと対象」記載の事項の枠組みと対象を書く。（「解説」P150～151）

歴史と人々の生活「地域」

〔学習指導要領との関連〕第３学年□内容（４）

**〔単元の学習問題〕徳島市やくらしはどのようにうつり変わってきたのだろう。**

〔中心概念〕徳島市や人々の生活の様子は、交通や公共施設、土地利用や人口などがそれぞれに関わり合いながら、時間の経過に伴って移り変わっている。

時期による違い

人口

交通

公共施設

土地利用

生活の道具

市民の願い

「追究の視点」を書く。

学習指導要領の記載事項「〇〇に着目して」の部分を参考に書く。それ以外にも必要に応じて追加してもよいが、多くなりすぎないように配慮する。

昭和の吉野川にかかる橋の完成により、道路や高速道路が延長され、自動車が交通の中心となり、市内や市外、県外との行き来がさかんになった。

市町村合併をしたことにより、人口が増えた。

最近は、減ってきている。

子育てする人、高齢者、障がい者などだれもが暮らしやすいまちづくりをめざしている。

・

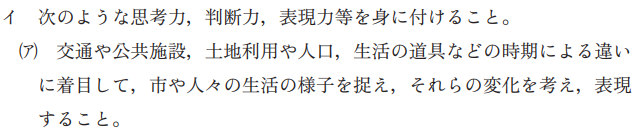
昭和のころに公共施設が多く整備された。税金によって、運営されている。

家電の登場により、家事にかかる時間が減り、生活が便利になった。

商店街などの個人店の数が減り、郊外の大型店が増えた。

田畑が減り、住宅が増えた。

具体的内容

****

・交通網の変化

・各地との結びつき

・昔と今の駅の様子

「追究の方法」を書く。

比較・分類・総合・関連付けして考える例を学習指導要領解説の「〇〇を考え、表現することとは」の部分を参考に書く。

・市民アンケート

・人口グラフ

・高齢者数グラフ

・市役所の人の話

・まちづくり振興計画

・市民アンケート

・昔の道具の写真

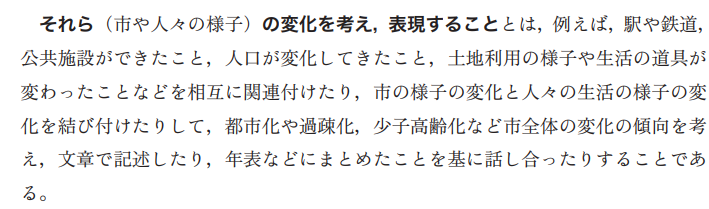
・商店街の写真

・土地利用図

・公共施設の変化

・税金

用語・語句

****

・駅や鉄道、公共施設ができたこと、人口が変化してきたこと、土地利用の様子や生活の道具が変わったことなどを相互に関連付けて考える。

・市の様子の変化と人々の生活の様子の変化を結び付けたりして、都市化や過疎化。少子高齢化など、市全体の変化の傾向を考える。

**(４)　子どもの意識がつながる単元構想について**

単元導入前に昔の様子の写真資料を複数背面掲示しておく。そこに、随時子どもたちが気付いたことや疑問をふせんに書き、貼っていくことができるようにすることで、単元への関心を高める。単元へ入ってからは、今と昔の写真資料を複数比較することで、時間の経過に着目した学習問題をつくることができるようにする。本単元は、初めて時間的な視点が出てくる単元である。そのため、時系列に沿って学習するのではなく、変化の大きかったある時代のある場所をポイントとし、タイムマシンに乗ってそこへ行ったり、今へ戻ったりするように単元を構想した。タイムマシンに乗って当時の人々に伝える判断する場面を設定することで、時期による違いからまちや人々の暮らしの様子が移り変わってきたことやどのように移り変わってきたのかを総合的に捉えることができるようにする。過去、現在を行き来するように学習したことで、未来について考えようとする意識となり、ひろげ深める段階につながる。そして、市役所の人によりよい未来について提案する機会を設けることにより、自分なりに地域に見られる課題を把握して、その課題の解決に向けて実現可能性の高い社会への関わり方を考えることができるようにする。

ここまでで２ページ

・日常的アプローチ

・学習問題づくり

・単元展開中の工夫

・振り返り　　　　　　など

研究内容１を参考にして書く。

**４□指導計画（全１４時間）**

( )も数字も

半角

問いかけ、資料提示、板書などの手だてについて書く。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **段階** | **学習活動**  ・子どもの反応 | **◇手だて　　◆判断を求める問い** | **評価** |
| **問題をつかむ** | **(1)徳島駅前を写した写真を見て気付きや疑問を出し合う。**  ・昔は今とはずいぶん様子が違うね。学校は１５０年前にできたよ。そのころを明治というんだね。  東新町商店街にこんなにたくさんの人がいて驚いたよ。  ・大正のころは馬車があるよ。緑も多いな。  「◆判断を求める問い」と  「【】判断する場面」を示す  （研究内容２（１）の分類で示す）  【判断（関わり方）】  【判断（深く分かる）】  【判断（見通し）】  ※１つの単元に３種類の判断すべてが入っていなくてもよい。  ※毎時間いれる必要はない。  ・建物が高くなっているよ。どうしてかな。 | ◇駅前の写真を明治・大正・昭和の３枚提示することにより、時間の流れによる移り変わりについて調べたいという意欲を高めることができるようにする。  学習活動は太字で書き、下線（＿）をひく。  (資)明治・大正・昭和の駅前の写真  資料を示す | 態① |
| **(2)昔と今を比べて出た疑問から学習問題をつくる。**  ・こんなにちがう昔から、今になるまでにはどのように移り変わってきたのだろう。  ・道具にいろんな機能がついたのはいつ頃か  ・何かきっかけがあって変わってきたのかな。  ・今は便利だけど、昔は不便な暮らしだな。  **〔学習問題〕徳島市やくらしはどのようにうつり変わってきたのだろう。** | ◇疑問を「便利」「不便」を取り上げ整理することにより、学習問題をつかみ、主体的に調べようとする意欲を高めることができるようにする。  ◆昔の人は本当に不便でこまっていたのか。  【判断（見通し）】  (資)・・・・・ | 思①  評価の観点のみ、毎時間示す。（５単元の評価規準に対応させる） |
| **予想を**  **たてる** | **(3)予想を出し合い、学習計画を立てる。**  ・電気製品ができたころに一気に変わっていそう。  ・車ができて便利になったと思う。大きな道路ができて県外まで行けるようになったと思う。  ・人口が増えて、家も増えたと思う。  ・おじいちゃんやおばあちゃんにインタビューして聞こうかな。  ・昔の写真や地図を比べてみるとわかると思う。  ・グラフや本の資料で調べられそう。  ・市役所の人がくわしく知ってそう。聞いてみたいな。 | ◇予想を「生活の道具」「乗り物」「道」「建物」「人口」の視点に分類して板書することにより、学習計画を立て、単元の学習の見通しをもつことができるようにする。  (資)・・・・ | 思① |
| **調べ方を**  **きめる** |
| **調べたしかめる** | **(4)道具や暮らしの移り変わりを調べる。**  ・  ・  ・  ・ | ◇～することにより・・・することができるようにする。  (資) | 知① |
| **(5)道具や暮らしの移り変わりについて年表にまとめる。**  三層がわかるように、１．５ｐで線をひく。  外枠は１．５ｐ、中の線は０．５ｐ  ・  ・  ・  ・  ・ | ◇～することにより・・・することができるようにする。  ◆洗濯機の方が便利だから、洗濯板をつくらなくていいのではないか。  【判断（深く分かる）】  (資) | 思① |
| **(6)乗り物の移り変わりについて調べる。**  ・  (本時)を示す  ・  ・  ・ | ◇乗り物の様子が分かる写真を提示することにより乗り物ができたことで交通が発達し移動が便利になったことについて理解することができるようにする。  (資) | 知① |
| **(7)道の移り変わりについて調べる。（本時）**  ・船の大きさも変わってきたね。昔はほとんど船で移動していたよ。  ・明治のころは川に囲まれていて道がつながっていないよ。  ・昭和のころに橋が増えて、さらに道路も増えているよ。  ・吉野川を自動車で越えられるようになるよ。  ・交通が発達すると、遠くまで移動できたり、渋滞がなくなったりして生活が便利になったよ。 | ６　本時の学習を参照  ◆当時の人たちにどんなことを伝えるべきか。  【判断（深く分かる）】 | 知① |
| **(8)建物の移り変わりについて調べる。**  ・  ・ | ◇～することにより・・・することができるようにする。  (資)・・・ | 知① |
| **(9)乗り物、道、建物の移り変わりを整理する。**  ・  ・ | ◇～することにより・・・することができるようにする。  (資)・・・・ | 知① |
| **(10)土地の使われ方について年表にまとめる。**  ・  ・ | ◇～することにより・・・することができるようにする。  (資)・・・・ | 知① |
| **みんなで考え**  **話し合う** | **(11)年表を見て、徳島市の移り変わりについて話し合う。**  ・  ・  ・  ・ | ◇～することにより・・・することができるようにする。  ◆徳島市にとって特に大事なターニングポイントはどこか。  【判断（深く分かる）】  (資)・・・・ | 思②  知② |
| **ひろげ深める** | **(12)徳島市の未来はどうなっていくのか考える。**  ・  ・  ・ | ◇～することにより・・・することができるようにする。  (資)市民アンケート | 思② |
| **(13)徳島市のよりよい未来について考え、話し合う。**  ・  ・  ・ | ◇～することにより・・・することができるようにする。  ◆徳島市は、今後何を優先してまちづくりを進めていくべきか。  【判断（関わり方）】  (資)市役所の人の話 | 思②  態② |
| **(14)徳島市のよりよい未来について提案する。**  ・  ・  ・ | ◇～することにより・・・することができるようにする。  (資)・・・・ | 態② |

＜202４年度＞　「４　指導計画」と「５　単元の評価規準」で２ページとする。

　　※2ページ目の途中で終わってもよい。

※冊子に製本する場合は、「４　指導計画」と「５　単元の評価規準」が見開きになるように白紙

（メモ欄など）を挿入して調整する。

□１行空け□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

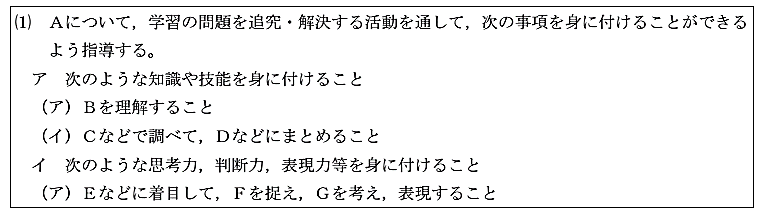
**５□単元の評価規準**※下記は例です。この文型でなくても構いません。

|  |  |
| --- | --- |
| **知識・技能** | ①（例）EなどについてCなどで調べて、必要な情報を集め、読み取り、Fを理解している。  ②（例）調べたことをDや文などにまとめ、Bを理解している。 |
| **思考・判断・表現** | ①（例）Eなどに着目して、問いを見いだし、Fについて考え表現している。  ②（例）○と○を（比較・関連付け、総合など）してGを考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。 |
| **主体的に学習に**  **取り組む態度** | ①（例）Aに関する事項について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり、見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。  ②（例）…学習したことを…に生かそうとしている。  …自分たちが協力できることを考えようとしている。  　　　　　　　…の発展について考えようとしている。　　　※態②は無い場合もあり。 |

学習指導要領を基本に文言を考える。

①・②の番号をふっておき、

「４ 指導計画」に示す。



**６　本時の学習(７/１４時間)**

本時が何時間目かを示す

|  |  |
| --- | --- |
| **本時の**  **ポイント** | **参会者の先生方にどこを見ていただきたいか。本時のヤマ場になるところを、**  **研究内容２（２）や研究内容３を参考にして書く。**  **[(教師が)～することにより、(子どもが)…できるようになるか。]** |

**(１)　本時の目標**

子どもの意識を十分に想定し、

子どもの意識が流れるように

考えて、具体的に記す。

地図や写真から読み取った情報を整理・分類して調べ、当時の人々に何を伝えるか考え、伝え合うことを通して、橋や道路が整備されていくにつれて生活が便利になってきたことについて理解できる。

学習活動は太字

**(２)　本時の展開**

※

丸数字で

時間を表す。

|  |  |
| --- | --- |
| **子どもの意識の流れ**  本時のめあて　　　　子どもの意識　　　　　　主な問いかけ・働きかけ　■主な資料 | **学習活動**◇手だて　◎評価  　（～）本時のポイントに関わる手だて |
| ・船の大きさが変わったね。昔は船での移動が多かったよ。  ・汽車ができると、一度にたくさんの人が移動できるよ。  ・自動車が増えたよ。速く移動できて荷物が楽に運べるよ。  吉野川に橋がかかってない。乗り物ができても向こう側へ行けないよ。どんどん道ができているね。    道はどのように変わってきたのか調べよう。  【明治】・川に囲まれて、道がつながっていないよ。  　　　 ・川は船を使ってわたっていたよ。  【大正】・線路は徳島駅を中心に南北に延びていて、  　　　　 吉野川は越えていないよ。  　　　 ・吉野川には１つしか橋が架かっていないよ。  【昭和】・多く橋ができて、吉野川の向こうへ行ける  　　　　 道ができたよ。  　　　 ・線路がないところに大きな道ができているよ。  【平成】・橋が増えて、さらに道路も増えているよ。  　　　 ・高速道路ができて県外までつながっているよ。  ■馬車・古川橋・交通渋滞の写真  当時の人はどう思っていたの。  もっと便利になったらいいな。  困っているだろう当時の人  たちに伝えたいな。  【判断を求める問い】を示す。  困っていたことが解決してうれしいな。これから解決するよって伝えたいな。  【判断を求める問い】  当時の人たちにどんなことを伝えるべきか。  【昭和～平成】  自動車数が増えているけど、橋や大きな道路ができるので渋滞がましになるよ。高速道路もできるので県外にも速く出かけられるようになるよ。  【明治～大正】  市の中心部に行きにくいけど、20年後には汽車ができるので、すぐに移動できるよ。楽に行けるよ。  【大正～昭和】  吉野川を自動車で越えられるよ。線路が通っていないところにも道路ができるので、遠くにも住めるようになるよ。  判断への意欲を高める工夫や考えを深める手だての中で、特にポイントとなる手だてに波線（～）を引く。  ・交通が発達すると、渋滞がなくなったり、遠くまで移動でき  たりして生活が便利になったよ。  ・次は、建物がいつごろ増えたのか調べたいな。 | **１□前時の学習を振り返り、本時の□めあてをつかむ。⑤**  ◇○○○○○○○○○○○○○○○  　　○○○○○○○○○○○○○。    **２□**○○○○○○○○○○○○○○  **□○○○。⑩**  ◇○○○○○○○○○○○○○○○  ○○○○○○○○○。  **３□道ができる前の当時の人に伝え□合う。⑳**  ◇写真を提示し、「当時の人はどう思っていたのだろう。」と問うことにより、昔の人が不便で困っていたことを具体的に捉え、判断する場面への意欲を高めることができるようにする。  ◇板書上で上下する矢印を用いて時代の移り変わりを表すことにより、紆余曲折しながら、人々の生活が便利に住みやすくなってきたことを理解することができるようにする。  **４□**○○○○○○○○○○○○○○  評価の観点【】や  評価の方法（）を書く。  **□○○○○○○○○○○○○○⑩。**  ◇○○○○○○○○○○○○○○。  ◎・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  ・・・・・・・・・・・・・・・している。【思①】  （発言・ワークシート） |

※判断する場面の前後など、子どもの意見が分かれることが

特に重要な部分のみ、枝分かれする形で子どもの意識を示す。

本時のめあて　と　判断を求める問い　について

①本時のめあて と 判断を求める問い　が おおむね同じ場合

→下線を引いて「問い」の部分が分かるようにする。

　　　　（【判断を求める問い】の部分にも下線を引く）

【判断を求める問い】

市のごみ問題の解決に向けて、自分たちに何ができるか考えよう。

②本時のめあて と 判断を求める問い が 異なる場合

　　　　　→本時のめあて と 判断を求める問い の 両方を書く。

本時の評価の観点を本時に２つ示す場合

・学習活動で分けて示す。（例：活動３が【思】　活動４が【態】など）

